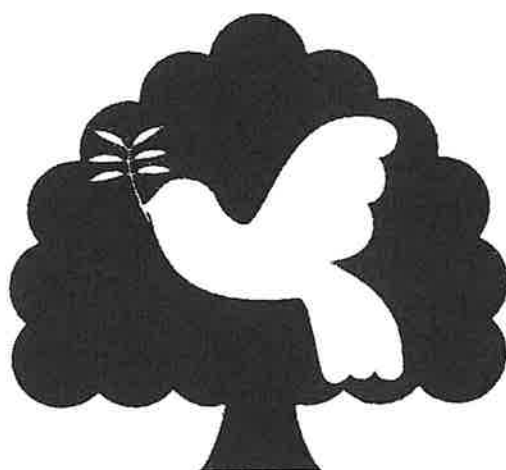


令和5年度  
事業報告書



社会福祉法人  
千葉アフターケア協会

## 目 次

はじめに	2
【法人全体の取り組み】	
令和5年度法人目標について	3
中長期目標について	3
【令和5年度業績報告】	4
【令和5年度資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表の抜粋】	6
【役員会等開催報告】	7
事務局	8
<u>障害者支援施設ハピネス浜野</u>	9
生活介護	10
施設入所支援	11
短期入所	12
医務室・リハビリ	13
【利用者行事等実施報告】	14
【利用者週間活動実施報告】	16
【ヒヤリハット報告】	17
【事故報告】	17
【千葉県への事故等報告・苦情等】	18
<u>相談支援事業所ハピネス浜野</u>	
計画相談支援・障害児相談支援	19
<u>指定障害児通所支援事業所ハピネス浜野</u>	21
児童発達支援	23
放課後等デイサービス	24
<u>グループホームセレニテ</u>	
共同生活援助	25
【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】	27
【法人内委員会・諸会議実施報告】	28

## はじめに

令和5年度は、法人設立認可などの節目を迎え、令和6年1月に社会福祉法人設立認可50周年、並びに、ハピネス浜野設立20周年の記念式典を開催することができた。

能登半島地震に対しては、義援金を贈り、改めて利用者の命を守ることの大切さと防災意識を振り返る機会とした。理事会では運営状況を共有し、各事業とも感染症対策を継続し、利用者の体調管理に努めた。

障害者支援施設では、ここ数年来の利用者の減少で特に入所希望者が少なく、満床となっていない。通所利用者もサービスの変更や体調不良などで利用日数の減少にも繋がり、減収となった。支援員数も前半は少なく時間外勤務を余儀なくされたが、しっかりと利用者支援にあたった。新型コロナウイルス感染症が5類となった後は、徐々に利用者同士の交流も増え、施設内の活気が戻りつつある。

相談支援事業所では、契約者の減少が見られた。児童通所支援事業は、体調不良の利用児童も少なく、安定した運営ができた。共同生活援助は、入居者の入替もあったが概ね安定した運営ができた。

### 【事業報告書において記載されている主な内容】

- ・令和5年度の目標やサービス方針に対する報告事項
- ・当初予算対比の結果
- ・直近5年間の利用者の推移
- ・行事等実施報告
- ・事故に関する報告

### 【役員等総数】※令和6年3月31日現在

理事 6名

監事 2名

評議員 7名

評議員選任解任委員 4名（うち外部委員2名）

苦情解決第三者委員 2名

### 【職員総数】※令和6年3月31日現在

53名

## 【法人全体の取り組み】

### 令和5年度法人目標について

法人の総合力を高める

～利用者の生命と生活を守る施設づくり～

- 命を守る行動が臨機応変にとれる職員の育成と施設運営
- 速やかな情報共有を図り、チームで適切に対応する

[報告事項]

- 1) 利用者の体調変化に気づけるよう観察や記録を強化した。
- 2) フロアリーダーを中心にメンバー間で情報共有を図り、利用者支援を実施した。
- 3) 感染症対策を引き続き実施した。

### 中長期（令和3年度から3年間）目標について

1. 地域と共にある施設づくり

- ①防災・感染症対策を中心とし、地域との連携による利用者の安全確保体制の強化を図る
- ②地域住民や利用者家族からの要望に対し誠実に取り組む

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス感染予防策を引き続き実施した。
- 2) 生浜地区地域福祉連携会議において協議、決定したフードロス削減イベントの実行委員として参加した。

2. 社会福祉法人の使命の追及

- ①利用者の尊厳を尊重し、安全・安心な福祉サービスの提供を推進する
- ②快適な暮らしを提供するための施設整備の充実を図る
- ③開かれた法人運営
- ④社会福祉充実計画の検討と実施

[報告事項]

- 1) エレベーター耐火スクリーンの是正工事を実施した。
- 2) サービス提供用キッチンの入替えを実施した。
- 3) 見守りカメラを増設した。
- 4) 各水栓の交換工事を実施した。
- 5) 各居室ドアのフリーストッパーを交換した。

### 3. 施設・職場環境の整備

- ①チームワークによる支援体制の充実を図る
- ②職員教育制度の充実を図る
- ③働き方・考え方の多様性を尊重し、職員の職場定着を図る

#### [報告事項]

- 1) 報連相に関する職員研修を実施した。
  - 2) 介護福祉士実務者研修を開催し、3名が合格した。
  - 3) 紹介会社を利用し4名採用したが雇用契約継続者は1名のみである。
  - 4) 職員紹介制度の活用者が3名で、パート職員として採用した。
- 採用 14名 (入職率: 3年度 6/59 10.2% 4年度 8/60 13.0% 5年度 14/53 26.4%)  
退職 13名 (離職率: 3年度 7/59 11.9% 4年度 15/60 25.0% 5年度 13/53 24.5%)

#### 長期目標

1. 地域と共にある施設づくり
2. 社会福祉法人の使命の追及
3. 職場環境の整備

## 【令和5年度業績報告】

### 1 事業の経過及びその成果

#### サービス活動収益について

- 1) 令和5年度は、各事業の当初予算を前年実績同様とした。
- 2) 共同生活援助事業以外は、平均利用者数が当初予算より減となった。

#### 補助金・助成金申請について

- 1) 物価高騰対策支援金(県・市)合計1,782千円を申請した。
- 2) 送迎車2台に「置きり防止装置設置補助金」(市)341千円を申請、設置した。

#### 支出について

##### <建物・設備等>

エレベーター耐火スクリーン、サービス提供用キッチンの改修工事を実施した。  
厨房設備の入替を実施した。

##### <人件費・事業費・事務費>

(指標%)	令和4年度	令和5年度	前年比
人件費率 (60~70%)	66.7%	68.9%	2.2%増
事業費率 (13~15%)	15.8%	15.2%	0.6%減
事務費率 (13~15%)	16.2%	17.3%	1.1%増

<積立金>

- ・エレベーター耐火スクリーン等の工事のため1,400万円の取崩
- ・積立なし。

法人全体での予算・実績対比と前年度との比較

- 1) 資金収支計算書上の決算額は、概ね予算どおりの内容となった。
- 2) 事業活動計算書について、サービス活動収益は前年と比較して12,839千円の減収となった。
- 3) 今年度の経常増減差額は  $\Delta 26,131$  千円となった。

社会福祉充実計画について

今年度は社会福祉充実計画作成の必要なし。

## 2 【資金収支計算書】

(単位：千円)

	予 算	決 算	差異 (予算-決算)	
事業活動収入	329,520	330,359	△839	(100.2%)
事業活動支出	333,008	329,361	3,647	(98.9%)
事業活動資金収支差額	△3,488	998	△4,486	
施設整備等収入計	341	341	0	(100.0%)
施設整備等支出計	20,868	19,459	1,409	(93.2%)
施設整備等資金収支差額	△20,527	△19,118	1,409	
その他の活動収入計	14,000	13,200	800	(94.3%)
その他の活動支出計	1,619	1,618	1	(99.9%)
その他の活動資金収支差額	12,381	11,582	799	
予備費支出	1,500	0	1,500	
当期資金収支差額合計	△13,134	△6,537	△6,597	

## 3 【事業活動計算書】

(単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	対 比	
サービス活動収益	338,672	325,833	△12,839	(96.2%)
サービス活動費用	355,581	354,251	△1,330	(99.6%)
増減差額	△16,909	△28,417	△11,508	
サービス活動外収益	3,828	4,526	698	(118.2%)
サービス活動外費用	2,261	2,240	△21	(99.1%)
サービス活動外増減差額	1,567	2,286	719	
経常増減差額	△15,343	△26,131	△10,788	
特別収益	8,250	341	△7,909	(4.1%)
特別費用	71	341	270	(480.3%)
特別増減差額	8,179	0	△8,179	
当期活動増減差額	△7,164	△26,131	△18,967	

## 4 【貸借対照表】

(単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	対 比	
流動資産	96,257	91,076	△5,181	(94.6%)
固定資産	1,036,013	997,872	△38,141	(96.3%)
資産合計	1,132,270	1,088,948	△43,322	(96.2%)
流動負債	14,942	16,214	1,272	(109.0%)
固定負債	34,450	31,664	△2,786	(91.9%)
負債合計	49,392	47,878	△1,514	(96.9%)
純資産	1,082,878	1,041,070	△41,808	(96.1%)

## 【役員会等開催報告】

### 1 監事監査

令和5年5月23日（火）

令和4年度法人事業経営の監査

### 2 理事会

第1回理事会 令和5年6月6日（火）

議題 議案第1号 令和4年度事業報告（案）について

議案第2号 令和4年度決算報告（案）について

議案第3号 社会福祉充実計画（案）について

議案第4号 新理事・監事候補者の推薦について

議案第5号 定時評議員会の招集について

第2回理事会 令和5年6月22日（木）

議題 議案第1号 理事長、業務執行理事の選定について

議案第2号 退任慰労金について

第3回理事会 令和5年9月26日（火）

議題 議案第1号 エレベーター耐火スクリーン等の改修について

議案第2号 記念式典の開催について

議案第3号 第1次補正予算（案）について

議案第4号 就業規則の一部改正（案）について

議案第5号 パートタイマー等就業規則の一部改正（案）について

議案第6号 経理規程の一部改正（案）について

議案第7号 運営規程の一部改正（案）について

議案第8号 短時間職員の就業規則の一部改正（案）について

議案第9号 ハラスメント防止に関する規程の新設について

第4回理事会 令和5年12月10日（日）

（書面決議）

議題 議案第1号 苦情解決第三者委員の変更（案）について

第5回理事会 令和6年3月22日（金）

議題 議案第1号 令和5年度第2次補正予算（案）について

議案第2号 令和6年度事業計画（案）について

議案第3号 令和6年度当初予算（案）について



### 3 評議員会

定時評議員会 令和5年6月22日(木)

議題 議案第1号 令和4年度 事業報告書の承認について

議案第2号 令和4年度決算報告書の承認について

議案第3号 社会福祉充実計画の承認について

議案第4号 次期理事・監事の選任について

#### 【評議員傍聴】

第5回理事会 令和6年3月22日(金)

議題 議案第1号 令和5年度第2次補正予算(案)について

議案第2号 令和6年度事業計画(案)について

議案第3号 令和6年度当初予算(案)について

## 事務局

### 1 法人事務

#### [報告事項]

- 1) 令和6年2月16日に千葉市による社会福祉法人等指導監査が実施されたが、特に指摘事項等はなかった。
- 2) 介護福祉職員等処遇改善加算特例交付金およびベースアップ等手当の事務処理を実施し、法人職員へ支給することができた。
- 3) 税理士との打合せを月1回行い、適切な会計処理に努めた。
- 4) 社会福祉法人設立認可50周年、ハピネス浜野設立20周年の記念式典を開催した。
- 5) エレベーター耐火スクリーンの是正工事等を実施した。
- 6) 時間外勤務の実態把握に努め、職員の健康管理に配慮した。
- 7) ハピネス通信や掲示板を活用し利用者の日常の様子等、情報発信を積極的に行った。
- 8) 職員採用のため紹介会社を利用した。

### 2 防犯、防災計画

#### [報告事項]

- 1) 震災総合避難訓練 震度6強の地震による火災発生を想定し、初期消火(模擬動作)、119番への通報訓練、館内放送、避難誘導を含む総合訓練を6月21日と12月6日の2回実施した。
- 2) 夜間想定避難訓練 夜間(23:00)に火災が発生した事を想定、火災発見から初期消火(模擬動作)、119番通報訓練、利用者の避難誘導訓練を3月6日に実施した。

### 3 食事提供

#### [報告事項]

- 1) 食事形態を話し合い、利用者の状況に合わせて適宜変更を行った。
- 2) 行事食は季節・行事メニューを月1回のペースで提供した。
- 3) 日常食材と備蓄食の在庫管理を徹底し、非常時への備えと食品ロスに対して真摯に取り組んだ。

## 障害者支援施設ハピネス浜野

(生活介護・施設入所支援・短期入所)

### 目標

- ・利用者が安全かつ快適に過ごせる場を提供する  
～感染症や事故予防のための早期発見ができる力をつける～
- ・利用者のニーズを見極めた介護サービスを提供する  
～モニタリングの実施と介護技術の向上～

### [報告事項]

- 1) 令和6年2月16日に千葉市による障害福祉サービス事業者等実地指導があり、特に指摘事項等はなかった。
- 2) 検温や消毒を随時行い、健康管理と衛生管理に努めた。
- 3) 利用者の事故予防や健康管理等は施設全体で対応した。
- 4) リハビリの提供など一部のサービスを除いて、日常生活上に必要なサービスを提供できた。

### 【利用者年齢構成】

令和6年3月31日現在

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
入所利用者	男	0	1	2	2	3	5	0	13
	女	0	0	1	4	5	6	1	17
通所利用者	男	1	11	6	2	1	0	0	21
	女	0	6	1	2		0	0	9
計		0	19	10	10	9	11	1	60

### 【利用者平均年齢】

入所利用者 54歳

通所利用者 33.5歳

## 生活介護

### 目標

- ・快適な時間が過ごせるよう、送迎車の安全な運行、感染対策、日中活動の充実を図る  
～家族・他事業所・他部署との連携を密にする～

### [報告事項]

#### 1) 日中活動

春に『スイーツハント』を実施し、敷地内を散策しながらゲームに参加し、お菓子を獲得した後に茶会を行った。屋外での活動により気晴らしになり楽しく過ごせる時間となった。夏にはソフトクリーマーを使用してのアイスクリームづくりや秋にはハロウィン企画としてゲームを実施し、季節に合わせた活動を実施する事で楽しむ事ができた。

#### 2) 日々の生活場面

新型コロナウイルス感染症が5類となり、フロア間の移動規制を解除した事で徐々にではあるが、利用者間の交流や活動の場が広がり、以前の活気が戻ってきている。カラオケ活動も再開し、利用者の活動への参加意欲も高まってきている。なお、活動における飛沫感染を避ける為、基本的な感染予防対策は継続して実施している。

#### 3) 他施設との連携

生活介護を併用している利用者の利用状況について他事業所と連絡を取り合い、その利用者にとって、より良い環境で過ごせるよう調整を行った。

#### 4) 送迎サービス

ドライバーと添乗員が協力し、運行中の車内の換気や消毒を実施した。

### 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数 (名)	12,558	12,436	△122
1日あたり平均利用者数 (名)	50.0	48.4	△1.6 (96.8%)
事業収入 (千円)	198,734	186,590	△12,144 (93.9%)

### 【直近5年間の利用者の推移】

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者定員 (名)	60	60	60	60	60
1日あたり平均利用者数 (名)	52.5	52.3	52.1	50.0	48.4
稼働率 (%)	87.5	87.2	86.7	83.3	80.7
稼働日数 (日)	262	261	259	261	257
利用者延べ人数 (名)	13,763	13,649	13,587	12,558	12,436
事業収入 (千円)	205,828	208,869	211,876	201,538	186,590
平均障害支援区分	5.7	5.5	5.8	5.7	5.5

## 施設入所支援

### 目標

- ・利用者の日々の心身の変化を理解し、感染症予防・事故予防に努める。
- ・知識、技術の向上のために研修等への参加や自己研鑽に励み、質の高い介護サービスの提供に努める。

### [報告事項]

1) 健康管理、感染対策
<p>医務室と連携を図り、利用者の体調の変化に留意し、早期発見、早期治療に繋がった。休日の健康管理を十分に行い、体調不良が疑われた際には、連絡が取れる体制を構築した。</p> <p>食事や活動時は三密を避けた配置を継続し、利用者へ消毒やマスク着用を促した。陽性者が出た際は、ゾーニングの実施、各居室での対応、消毒の徹底に努めた。</p> <p>家族との連絡調整を行い、状況に応じて外出泊の中止や変更をお願いした。</p>
2) 活動等について
<p>市のスポーツ大会、諏訪神社への初詣や節分祭等、実施された行事に参加した。</p> <p>県身協主催のオセロ大会が中止となった為、施設内でのオセロ大会を実施し、毎年、オセロ大会を楽しみにしている利用者たちが楽しく参加した。浜野町会主催のオセロ大会にも参加し、地域の人々と触れ合う機会もあった。またお月見行事としてプラネタリウム鑑賞や生実池の花火大会を施設から鑑賞、クリスマス行事として人間クリスマスツリーコンテストを実施するなど、楽しい時間を過ごした。</p>
3) 利用者懇話会（今年度は1回のみ実施）
<p>施設からの連絡事項の伝達や、利用者との意見交換を行った。</p>
4) 支援内容等
<p>フロア間の移動規制が無くなった事で利用者間の交流や活動への参加機会を提供し、コロナ禍前と変わらぬ生活環境に戻れる様に支援を行った。</p>

### 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	11,170	11,049	△121
1日あたり平均利用者数（名）	30.6	30.2	△0.4（98.7%）
事業収入（千円）	87,105	76,300	△10,805（87.6%）

### 【直近5年間の利用者の推移】

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者定員（名）	32	32	32	32	32
1日あたり平均利用者数（名）	30.8	31.4	31.5	30.6	30.2
稼働率（%）	96.2	98.1	98.4	95.6	94.3
稼働日数（日）	366	365	365	365	366
利用者延べ人数（名）	11,302	11,462	11,493	11,170	11,049
事業収入（千円）	73,591	75,549	78,421	78,217	76,300
平均障害支援区分	5.4	5.3	5.4	5.3	5.3

## 短期入所

### 目標

- ・利用者や家族の生活状況に応じ、希望に沿って利用できるよう調整に努める。

### [報告事項]

- 1) 送迎時に家族の健康チェックと健康チェックカードを配布し、自宅での健康状態の把握に努めた。また、マチコミメールの登録を呼び掛け、迅速な情報発信に努めた。
- 2) 恒常的に利用する利用者はできる範囲で希望に沿った利用ができるよう調整を行った。緊急な延長や変更についても柔軟に対応した。
- 3) 利用者自身だけでなく、利用者の家族の体調等の事情に応じて、ベッドコントロールを行いミドルステイを実施した。

### 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数 (名)	1,345	1,578	233
1日あたり平均利用者数 (名)	3.7	4.3	0.6 (116%)
事業収入 (千円)	16,072	20,864	4,792 (129.8%)

### 【直近5年間の利用者の推移】

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者定員 (名)	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数 (名)	5.2	5.3	4.9	3.7	4.3
稼働率 (%)	86.6	88.4	81.6	61.7	71.7
稼働日数 (日)	366	365	365	365	366
利用者延べ人数 (名)	1,917	1,935	1,791	1,345	1,578
事業収入 (千円)	23,427	23,925	22,944	17,680	20,864
平均障害支援区分	5.3	5.8	5.7	5.5	5.8

## 医 務 室

### [報告事項]

- 1) 医務室対応の通院内容  
・発熱7件・嘔吐1件・尿路感染1件・血圧低下1件・手足、腰の腫れ2件・蜂窩織炎5件(再診含む)・腹痛1件・骨折1件・脂漏性湿疹1件・転倒による救急搬送1件・乳がん検診1件
- 2) 皮膚科通院  
感染症対策のため2ヶ月/1回通院継続とした。定期受診者3名。その他の皮膚症状に関しては嘱託医の訪問診療時に相談対応とした。
- 3) 日々の体調管理と服薬管理として、毎月1回嘱託医が入所利用者の診察を実施。
- 4) 月2回の歯科医師による訪問診療では入所利用者25名+セラニテ3名を歯石除去、虫歯治療、義歯調整、歯磨き指導等実施。
- 5) 入所者11名(希望者)に大腸がん健診実施。全員陰性。
- 6) コロナワクチン5回目を8月(65歳以上・基礎疾患)、10月に入所利用者計27+セラニテ利用者4名実施(入所の残り4名は希望せず)  
インフルエンザ予防接種12月に33名(入所28名+セラニテ4名+SS利用者1名)接種。(入所利用者3名内2名は体調不良、1名は希望なし)
- 7) 令和5年9月に入所利用者3名の新型コロナウイルス感染症罹患患者が出たが、感染拡大することなく終息した。発生時にはゾーニングを行いPPE装着、毎日の館内消毒、換気と利用者、職員へのソーシャルディスタンス、マスク着用、手洗いの必要性を伝え、感染対策への意識付けを行った。又、通所・入所利用者様にはマスクの着用をお願いし、外泊時には体温測定と健康観察を依頼した。
- 8) 施設利用者の病状変化に伴い医療ケア(尿留置カテーテル管理(2名)、胃瘻・経管栄養(6名)、気管切開部管理(2名)、気管内および口鼻腔内吸引(約5名))を実施した。
- 9) 利用者の体重・栄養面での観察、栄養士と共に栄養マネジメントを実施し、体重減少者に対しては嘱託医診察時に相談し、栄養補助(エンシュア等)にて体重管理を行った。
- 10) 入所利用者30名と短期入所利用者1名に定期健康診断を年2回実施。結果は嘱託医および家族に連絡し、主治医への相談・連携も図った。
- 11) 今後さらに利用者の高齢化と障害に伴い、医療ケアの必要度と身体的な急変時の対応が必要になってくると思われることから、疾病予防や早期発見に力を入れるとともに職員全体で情報の共有を図り、感染予防と健康の維持に努めた。
- 12) 看取り1件:家族の理解と嘱託医の指導のもと看取りを行った。
- 13) 衛生物品の管理

## リハビリ

### [報告事項]

- ・車いす等の修理は必要に応じて業者への連絡や家族対応を行った。
- ・リハ職員欠員のためリハビリ提供ができなかった。

【利用者行事等実施報告】

月	行 事	場 所	行事食・その他
4月			春の桜御膳
5月	千葉県障害者スポーツ大会 (14日) スイーツハント (5/25～ 6/28) 兜飾り	青葉の森公園陸上競技場  屋外敷地内、ねむの木広 場 ねむの木広場	端午の節句メニュー
6月	ハピネスオセロ大会	ねむの木広場 各階フロア	リクエストメニュー
7月	七夕飾り サマーフェス中止	各階フロア	七夕メニュー
8月	生実池花火大会鑑賞 (18日)	集会室、ベランダ	精進料理
9月	お月見パーティー (30日) プラネタリアウム鑑賞 (9/30、 10/1)	2Fバルコニー、集会室	月見バーガー
10月	ハロウィンウィーク (ゲー ム)	各階フロア	ハロウィンメニュー
11月	利用者健康診断 インフルエンザ <sup>※</sup> 予防接種	入所フロア	秋の行事メニュー
12月	クリスマスツリーコンテスト (18日～22日) ウインターフェス中止	各階フロア	クリスマスメニュー 年越しそば
1月	初詣 (1日)	諏訪神社	おせち料理 七草粥・白玉汁粉
2月	節分祭 (3日) 浜野町会オセロ大会 (25日)	諏訪神社 浜野会館	節分メニュー
3月	ひな壇飾り 懇話会 利用者健康診断	ねむの木広場 3階フロア 入所フロア	ひな祭りメニュー
毎月	<b>【理美容】</b> アラモード (第3月曜)      髪人 (第3火曜) <b>【ボランティア活動】</b> ボッチャ (偶数月 第2水曜) <b>【その他】</b> 体重測定 (1回)      嘱託医診察 (1回)      訪問歯科診療 (2回) みんなの声ポスト確認 (月初)      味ポスト (随時聞き取り)		

### 千葉県スポーツ大会

4名の参加者は日頃の運動の成果を発揮するとともに、久しぶりの大会の雰囲気を楽しんだ。昼食は感染予防のため、マクドナルドで各々が食べたい物をテイクアウトし、帰所後1階ねむの木広場で飲食を楽しんだ。

### サマーフェス→生実池花火大会鑑賞、お月見パーティー

生実池花火大会を集会室から鑑賞した。参加利用者も多く職員と共に大変盛り上がった。お月見パーティーでは、利用者が食べたいもの上位にあるマクドナルドメニューから、季節限定の月見バーガーを提供した。利用者それぞれが好きなセットメニューを選択し、大変満足な食事の時間を過ごした。

### クリスマス会→人間クリスマスツリーコンテスト

通所、2階、3階と各利用者が職員をツリーに見立てて装飾をしていき、完成した人間クリスマスツリーを撮影。後日、撮影した写真を掲示し、利用者や職員に投票してもらい最もよくできたツリーを選んでもらった。面白く装飾をしたり綺麗に装飾したりとフロアごとに大変盛り上がりを見せた。

### 行事食

季節行事を意識した献立で昼食を提供した。

### 利用者懇話会

通所・入所利用者が参加し、感染予防対策や行事、日々の活動、食事について話し合った。

### オセロ大会

県身協主催で毎年6月に開催されるが、今年度は感染拡大予防の為、中止となった。

### ハーティーコンサート

県身協主催で毎年10月に開催されるが、今年度は感染拡大予防の為、中止となった。



## 日中活動

【物作り】各フロアの壁面装飾として、折り紙や色画用紙を使い季節ごとの花を作成した。また、四季を通してポストカードに花のちぎり絵を作成し専用ケースに入れ、季節ごとに入れ替えたり、バラのポプリで匂い袋を作成し香りを楽しんだりした。他にも「みやこ染め」のコースターを作成し、ハピネス設立記念式典の来場者にプレゼントして喜んでもらった。

【園芸】朝顔や向日葵をプランター栽培で種まきから育てた。育てた朝顔で押し花を作成し楽しんだ。

【料理】夏には初めてとなる専用機械を使用しソフトクリームを提供。自身で様々なフレーバーの中から食べたいものを選択した。暑い夏を乗り切る為のスタートにもなり、利用者からは好評であった。

後半はリクエストのあったパンケーキ作りを行い、自身でソースやホイップをかけて楽しみながら召し上がっていた。

【季節活動】七夕（短冊を作成、笹に飾る）、花火大会（生実池花火大会見学）、クリスマス（人間クリスマスツリーコンテスト）と、各季節に応じた活動を行った。また、今回初の試みとしてお月見を行った。バルコニーでハンバーガーを会食、集会室でプラネタリウムを行い、利用者から好評を得た。

【外出活動】例年実施されている諏訪神社節分祭へ参加。下半期に、ご家族との外出や外泊が無い利用者様向けにコンビニ外出を行った。久々の外出で自身の欲しい物を選択し買い物できたことに喜ばれていた。

## 【利用者週間活動実施報告】

	午前	午後
月曜日	機械浴(男女) 各種個別活動	各種全体活動 機械浴(男)
火曜日	機械浴(男女) 各種個別活動	機械浴(女) 各種全体活動
水曜日	機械浴(男女) 各種個別活動	各種全体活動 誕生日会(最終週) 体重測定 嘱託医診察(施設入所支援利用者のみ)
木曜日	機械浴(男女) 各種個別活動	各種全体活動 機械浴(男) 訪問歯科(入所者・入居者のみ)
金曜日	機械浴(男女) 各種個別活動	機械浴(女) 各種全体活動
土曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備
日曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備

各階で生活リハビリを行った。

【ヒヤリハット報告】

83件

移乗時	3	紛失	1
食事時	3	物損	9
入浴時	2	その他（設備）	4
排泄時	1	その他（利用者）	3
異物混入	1	その他（職員）	6
薬	0	フロア移動	1
返却忘れ	19	確認不足	30

年度	R 3	R 4	R 5
件数	103	142	83

件数は前年度よりも減少した。確認不足(30)は車椅子のベルトの付け忘れ、利用者の外泊中止の連絡忘れや戸締りなどセキュリティ面での失念。返却忘れ(19)は、通所や短期入所利用者の連絡帳や衣類等。物損(9)は経年劣化による施設備品の破損、故障であった。報告内容に対して、リスクマネジメント委員が分類や再発防止に向けた検討を行い、報告者へフィードバックを実施した。

【事故報告】

計87件

転倒（自立その他）	7	返却忘れ	2
転倒（要介助）	3	物損	4
転落（自立その他）	5	紛失	2
転落（要介助）	5	その他（設備）	4
外傷	9	その他（利用者）	1
服薬ミス	12	離設（施設外）	0
異食・誤飲	1	他害	3
異物混入	5	その他（職員）	24
救急搬送	0	—	

年度	R 3	R 4	R 5
件数	43	121	87

件数は前年度よりも減少した。転倒（自立その他）(7)は大きな怪我を伴う事故には至らず、居室内やトイレ内で、すでに転倒されていたところを発見した事故報告だったが、うち1件は、「救急搬送の場合でもけがの状態が擦過傷や打撲などの軽易なケガは報告を要しないこと」を千葉市に確認した。

服薬ミス（落薬・残薬等）(12)では、利用者名の確認不足による誤薬や薬の飲ませ忘れ等、職員による事故報告だった。その他（職員）に関しては、食事提供表や変更届の記入ミス、また、施設内の施錠忘れなどセキュリティ面のヒューマンエラーによる事故等であった。

【千葉市への事故報告】

0件

【千葉市への感染症報告】

なし

【苦情等について】

「みんなの声」ポストへの投函はなかった。また、苦情に繋がる相談もなかった。

## 相談支援事業所ハピネス浜野

(計画相談支援・障害児相談支援)

### 目 標

- ・地域に密着した支援、障害児・者や家族の思いを可能な限り実現できるよう相談を行う。
- ・勉強会や相談支援に必要な研修に参加し、異業種、他事業所との交流に努め、ネットワークを構築していく。
- ・福祉や相談に関する知識・技術の習得に努め、知識・技術に基づいた様々な対応ができる知恵と高い専門性を持てるよう継続的に研鑽を積む。

### [報告事項]

- 1) 計画相談支援契約総数 100 名 (令和 6 年 3 月 31 日時点)。新規契約は障害者 1 名。障害児 5 名。契約終了者は、障害者 23 名。障害児 12 名。内訳は、死亡終了 3 名、サービス利用の希望なし 2 名、事業所変更 30 名となっている。
- 2) 新型コロナウイルス感染症が 5 類となり、利用者や家族へのモニタリングは事前に希望を確認し、可能な限り訪問や電話で行い、時間の都合のつかない場合はメール等で実施した。事業所へは事前に対応状況を確認し、可能な限り訪問を行い直接利用者の現状や各事業所の運営内容を理解し、新規利用者に紹介等を行う事で、事業者間の連携を深めた。
- 3) 相談支援関係の研修や意見交換会に積極的に参加し、情報交換や交流、スキル向上に努めた。

### 【資金収支計算書による予算・実績】

	計画	実績	差異
計画相談支援事業収入 (千円)	3,956	3,443	△513 (87%)
障害児相談支援事業収入 (千円)	1,267	1,455	188 (115%)
合 計	5,223	4,898	△325 (93.8%)

### 【直近 5 年間の利用者の推移】

(計画相談支援)

	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
計画書作成件数 (件)	87	74	74	86	51
モニタリング件数 (件)	238	260	225	179	213
新規契約件数 (件)	7	5	5	1	2
3 月 31 日時点契約件数 (件)	112	111	98	94	72
事業収入 (千円)	3,287	4,216	4,709	4,061	3,443

(障害児相談支援)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
計画書作成件数 (件)	36	34	43	35	39
モニタリング件数 (件)	95	86	73	44	79
新規契約件数 (件)	5	7	11	0	5
3月31日時点契約件数 (件)	33	34	35	34	28
事業収入 (千円)	1,526	1,417	2,028	1,328	1,455

【ヒヤリハット報告】 0件 (前年 0件)

【事故報告】 0件 (前年 0件)

## 指定障害児通所支援事業所ハピネス浜野

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

### [報告事項]

- 1) 新型コロナウイルスの感染予防に努めた。
- 2) 固定利用児の利用回数をご家族と相談し、必要に応じ利用日の調整を行った。
- 3) 個別支援計画書の理解に努め、個々の利用児の課題に取り組んだ。
- 4) 特別支援学校や他事業所との連絡を積極的に実施し、情報収集や共有に努めた。
- 5) ヒヤリハットや事故報告が起きた場合は情報共有し、早期に部署内で話し合う時間をもち、問題点を探り解決方法を見つけられるよう努めた。
- 6) ハピネス通信にて活動の様子を伝えた。
- 7) 新規契約は児童発達支援利用に1名。

### 【資金収支計算書による計画・実績（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

	計画	実績	差異
児童発達支援利用者延べ人（名）	326	308	△18
放課後デイ利用者延べ人数（名）	519	664	145
合 計（名）	845	972	127
児童発達支援1日あたり平均利用者（名）	1.3	1.2	△0.1
放課後デイ1日あたり平均利用者数（名）	2.1	2.6	0.5
合 計（名）	3.4	3.8	0.4（112%）
児童発達支援事業収入（千円）*	1,461	4,877	3,416（333.8%）
放課後デイ事業収入（千円）	13,287	11,280	△2,007（84.9%）
合 計（千円）	14,748	16,157	1,409（110%）

### 【直近5年間の利用者の推移（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

※平成27年10月事業開始

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	4.0	3.7	3.9	3.4	3.8
稼働率（%）	66.6	62.0	65	56.7	63.3
稼働日数（日）	261	259	259	251	257
利用者延べ人数（名）	1,056	963	1,020	845	972

【ヒヤリハット報告】

22件

確認不足	9
活動時	2
返却忘れ	7
送迎時	1
その他（職員）	3

前年度21件

【事故報告】

9件

転倒	1
外傷	1
物損	1
活動時	2
その他（職員）	4

前年度0件

【千葉市への事故報告】

0件

【苦情等について】

なし

# 児童発達支援

## 目 標

- ・様々な経験を積み重ね、遊びの中から自発性や、自己表現力を育てる。
- ・療育や訓練を通じて、自発性を発揮できるよう関わる。
- ・集団での活動により、家族以外の大人や子ども同士の関わりを広げる。

## [報告事項]

- 1) 『朝のウォーミングアップ』のカリキュラムを継続して取り組んだ事で、自発的に身体を動かしたり、感情表出を促すことが出来た。
- 2) 集団活動は粗大運動や感覚（触・視・聴・前庭・固有）遊び等を中心に実施した。砂場、ボール、パラバルーン、マットそり、ボールプール、水遊び、ロールポケット、ブランコ、タオルブランコ、エアートランポリン、斜面台、滑り台、散歩、温水プール等、色々な感覚入力の経験が出来るよう取り組んだ。  
個別活動に微細運動（お絵描き・紙ちぎり・ビニールテープ裂き・ボードゲーム等）の色々な感覚入力の経験が出来るよう取り組んだ。
- 3) 夏休み期間中は、プール遊びを実施し、水の感触を経験し、浮力の中で身体を動かして楽しめるよう、環境を整えた。
- 4) 生活介護との合同行事として、スイーツハントを実施した。生活介護の通所利用者に関わる時間をもち、楽しめるよう促した。
- 5) 長期休み期間等、長期休暇は放デイ利用児との関りを楽しめるように支援した。
- 6) お友だちと一緒に、送迎車での外出活動を経験出来るよう支援した。

## 【直近5年間の利用者の推移】

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
1日あたり平均利用者（名）	0.3	0.9	1.2	1.3	1.2
稼働日数（日）	261	259	259	251	257
利用者延べ人数（名）	84	246	307	326	308
事業収入（千円）	993	3,260	4,184	4,370	4,877



## 放課後等デイサービス

### 目 標

- ・一人ひとりの障害特性を理解し、快適な時間を送れるよう計画・実施する。
- ・様々な経験を積み重ね、活動や他者との関わりの中から、自発性や自己表現力を伸ばす。

### [報告事項]

- 1) 触刺激を中心に体幹刺激を入れるカリキュラムを作成し取り組んだ事で、覚醒率が上がり自発的に身体を動かしたり、感情表出を促せた。
- 2) 休み等には小集団で外出活動を取り入れた。年齢や発達状況に応じてグルーピングし、周囲にも興味関心や社会性を付けられるよう、外出場所を考慮し支援した。
- 3) 個別の関りが必要な状況の児童に対しては、1対1でじっくりと関わる時間を設けたり、散歩に出かける等の配慮し、快適な時間が送れるよう努めた。
- 4) 活動の中に、粗大運動や感覚遊び等を取り入れ、様々な(ボール、パラバルーン、マットそり、ボールプール、水遊び、ロールポケット、ブランコ、タオルブランコ、エアートランポリン、斜面台、滑り台、散歩等)経験が出来るよう取り組んだ。また、微細運動(紙ちぎり、新聞遊び、お絵かき、ボードゲーム等)も取り入れる事で、自発的に訴える等の感情表出を促せるように支援した。

### 【直近5年間の利用者の推移】

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
1日あたり平均利用者(名)	3.7	2.8	2.7	2.1	2.6
稼働日数(日)	261	259	259	251	257
利用者延べ人数(名)	972	717	713	519	664
事業収入(千円)	14,652	13,528	13,309	9,849	11,280

### 【行事等実施報告】

月	行事内容	場 所
4月	お花見	施設周辺
5月	端午の節句	ねむの木広場
7月	七夕	ねむの木広場
8月	サマーフェス	中庭
10月	オータムフェス	会議室
12月	ウィンターフェス	会議室
3月	ひな祭り	ねむの木広場
3月	卒業式	集会室

\*月間活動：誕生会  
 \*外出活動：長期休み時等に小集団にて、グループにあった外出活動を提供  
 \*5月生活介護と合同行事：スイーツハントを実施  
 \*サマーフェス：夏休み期間中ハピネス浜野内の中庭にてプールを実施  
 \*オータムフェス：会議室にておばけ屋敷を実施  
 \*ウィンターフェス：会議室にてエアートランポリンやおやつパーティーを実施  
 \*卒業式：3階集会室にておやつパーティーを実施

# グループホームセレニテ

(共同生活援助)

## 目 標

- ・利用者の心身の変化を察知・理解し、事故予防に努める。
- ・利用者の心身の状況に応じた生活スタイルを確立できるよう援助する。
- ・利用者主体で行事の計画を立て、実施する。
- ・適切な財務と運営管理を行う。

## [報告事項]

- 1) 令和5年9月15日千葉市による障害福祉サービス事業者等実地指導があり、特に指摘事項等はなかった。
- 2) 医療保護入院していた利用者に対する職員の理解を深め、ご本人が困ったことがあれば相談できる、気軽に話せるといった関係性を大切にすること、不調をきたした時には早めに休めるように配慮するなどの共通認識を図った。
- 3) 5月末に利用者1名退居。(ハピネス浜野へ入所)。待機登録者へ入居に向けて案内を開始、7月下旬に体験期間を設け8月17日付で新規1名入居となる。
- 4) 7月下旬に利用者2名の新型コロナウイルス感染を確認。全利用者へ4日間は各自接触を避け、無症状の利用者については生活介護・A型就労での受け入れ可能と連絡があったので、抗原検査を実施、陰性確認後、通常通り送り出しと迎え入れを行った。  
8月下旬に利用者1名の新型コロナウイルス感染を確認。他利用者は抗原検査実施し陰性の確認の後、通常通り送り出しと迎え入れを行った。  
1月下旬に帰所時に利用者1名に発熱症状あり、再度外泊。翌日受診し新型コロナウイルスに感染と連絡あり自宅療養となる。
- 5) 利用者の日中活動先からの帰所時間変更に伴い、入浴順や入浴方法の見直しなど行い、夕食時間までに全員の入浴を終えられるよう配慮した。
- 6) 外出活動は、屋内で密になるような場所を避け、マスク着用は継続したが、コロナ禍前のように外出を楽しむことが出来た。
- 7) 食事提供体制の見直し、試行を重ね来年度からはタイヘイクッキング・デポへ移行する準備を整えた。

## 【入居者年齢構成】

令和6年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
セレニテ 入居者	男	0	1	1	0	2	0	0	4
	女	0	1	0	0	1	0	0	2
計		0	2	1	0	3	0	0	6

## 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数(名)	2085	2,020	△65
1日あたり平均利用者数(名)	5.7	5.5	△0.2(96.5%)
事業収入(千円)	21,542	20,559	△983(95.4%)

【直近5年間の利用者の推移】 ※平成27年5月事業開始

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	5.8	5.8	5.8	5.7	5.5
稼働率（%）	96.6	96.4	96.6	95.0	92.4
稼働日数（日）	366	365	363	365	364
利用者延べ人数（名）	2,129	2,112	2,120	2,085	2020
事業収入（千円）	19,168	19,809	20,900	21,429	20,559
平均障害支援区分	3.8	3.8	3.8	4.2	3.9

【活動実施報告】

月	活 動	場 所
4月	花見（1日）	市原市上総更科公園
9月	花火（15日）	セレニテ私道
11月	紅葉狩り（11日）	東京ドイツ村
12月	忘年会（15日）	セレニテリビング
2月	節分祭（3日）	諏訪神社
3月	花見（30日）	千葉市動物公園
週末	買い物	ベイシア（八幡店）等

【ヒヤリハット報告】

計6件

	ヒヤリハット件数
移動	0件
移乗	0件
入浴	0件
服薬	2件
調理	1件
食事	1件
返却忘れ・間違い	0件
その他（利用者）	0件
その他（設備）	0件
その他（職員）	2件

前年度 8件

【事故報告】

計21件

	事故件数
転倒（自立）	11件
転倒（要介助）	0件
ずり落ち（自立）	1件
外傷	1件
服薬	2件
他害行為	1件
器物破損	2件
異物混入	0件
調理	1件
その他（職員）	3件

前年度 10件

大きな怪我に結びつくことはなかったが、利用者の転倒件数が今年度は多かった。環境要因のものは、整えて再発防止に取り組んだ。

【千葉市への事故報告】

0件

【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】

月	研修等	実習生等受け入れ
5月	移動・移乗～安心と安全を担保する技術研修 千葉県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者実践研修	
6月		基礎看護学実習 10名
7月	千葉県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者実践研修 全国身体障害者施設協議会研究大会 嘔吐物処理研修（内部：感染症対策委員会）	
8月	千葉県身協職員研修会（指導力強化研修～新人・若手のハウ・レン・ソウを上達させる）	相談援助実習1名
9月	安全運転管理者講習	
10月	千葉県サービス管理責任者等更新研修 千葉県サービス管理責任者等基礎研修 介護福祉士実務者研修	
11月	介護福祉士実習指導者講習会 福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー） 福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者） 千葉県相談支援従事者現任研修 日本社会事業大学専門職大学院リカレント講座（居住福祉） 千葉県身協職員研修会（事例（実践）発表会） 介護福祉士実務者研修	
12月	介護福祉士実習指導者講習会 全国身体障害者施設協議会職員スキルアップ研修会 介護福祉士実務者研修	
1月	成人期施設職員研修会（華麗に歳を重ねる） 社会福祉士実習指導者講習会 ネグレクト・スピーチロック研修（内部：虐待防止委員会） 身体拘束の検討・見直し研修（内部：身体拘束廃止委員会） 転倒・腰痛防止研修（内部：安全衛生委員会） 介護福祉士実務者研修	
2月	介護福祉士実務者研修	
3月	千葉市障害者グループホーム等連絡協議会研修会 介護福祉士実務者研修	

研修等

- ・職員それぞれのキャリアパスに応じた資質向上を図るため、全社協福祉職員キャリアパス対応生涯研修等に参加した。
- ・介護福祉士実務者研修を開講し、外部施設職員を受講者に含めて実施した。
- ・委員会主催で内部研修会を実施した。

実習生等受け入れ

- ・相談援助実習生を淑徳大学から1名受け入れた。
- ・基礎看護学実習生を淑徳大学から10名受け入れた。
- ・京葉介護福祉専門学校は実習生なし。

## 【法人内委員会・諸会議実施報告】

### ① 安全衛生委員会 … 職員の安全及び労働衛生の改善

#### [報告事項]

- 1) 職員健康相談の相談数は年間2件で、体調について産業医に相談した。
- 2) 部署内では大掃除を2回、産業医とともに衛生管理者が施設内巡回を1回実施した。
- 3) 転倒・腰痛防止研修（1～2月）：「社会福祉施設向け転倒・腰痛防止用視聴覚教材」の視聴と腰痛予防体操を実施した。
- 4) 健康診断（腰痛検査含む）、インフルエンザの予防接種、ストレスチェックを実施した。
- 5) 新型コロナウイルスの感染症5類へ引き下げ後も継続して、出勤前の検温、館内消毒、手指消毒、マスク着用を促した。
- 6) 労災事故：1件（生活支援員：右膝挫傷）
- 7) 時間外労働超過者：0件
- 8) 休職者：1名（事務員）

### ② リスクマネジメント委員会 … 施設全体のリスクマネジメント

#### [報告事項]

- 1) 前年と同様に月ごとに委員2名が担当となり、ヒヤリハット報告書のフィードバックを行い、再発防止を図った。また報告書の提出方法を委員会内で統一して周知をしたことにより報告書の確認とフィードバックまでスムーズに行えるようになった。
- 2) 温度板（利用者支援の内容や実施有無の確認）の活用にも努め、必要な情報の記入や報告などを行うことにより情報共有に努めた。
- 3) 報告に関するタイミングが遅いとの問題指摘があり、初動（何かが起こった・普段とは違う）でのタイミングで0スタートとして状況の報告を行うように周知した。
- 4) 体調や状態に変化が見られた利用者に対する対応を委員内で話し合い、個別に日々の利用時の状況を明確化し、他事業所への報告・連携に努めた。

### ③ 感染症対策委員会 … 施設内感染の予防及び発生防止のための対策と職員教育

#### [報告事項]

- 1) 入所利用者においてインフルエンザ・感染性胃腸炎等の発生はなかった。今年度、新型コロナウイルス感染者はグループホームセレンにて入居者4名、世話人4名。また入所利用者に関しては9月に3名の感染者が出たものの、他部署と連携を図り職員間の情報の共有と発生時の感染対応（PPE装着、毎日の館内消毒、また利用者、職員へのソーシャルディスタンス、マスク着用、手洗い）を行ったことで感染の拡大を防げた。
- 2) 新型コロナウイルス感染予防を含めた自己チェックシート配布と環境巡視を年3回実施した。ポスター作成・掲示し、職員・利用者への協力と感染対策への意識づけを図った。
- 3) 嘔吐物処理動画研修を行い処理時の手順を確認し手技の統一を行った。感染発生時や発熱時の対応・嘔吐物研修に際し事前に委員間での研修や情報の共有を図り予防に努めた。

### ④ 身体拘束廃止委員会 … 不要な身体拘束のない介護の実践に向けた取り組み

#### [報告事項]

- 1) 車椅子のベルト等、またベッド柵の使用状況を再確認して、身体状況に伴う理由と、安全に利用できる方法を再検討した。新任職員を含めて、改めて支援の現場に周知する機会とした。
- 2) 身体拘束に関する同意書を作成し、利用者家族への説明および署名をいただいた。

3) 車椅子の誘導等の支援を行う点から全職員を対象として、利用者の具体的な支援場面をあげて、なぜ身体拘束となるのかとその理由を考える研修を実施した。

⑤ 虐待防止委員会 … 虐待に関する調査と検討 人権擁護・虐待防止のための職員教育

[報告事項]

- 1) 虐待の早期発見や自身の振り返りをする為の「職員セルフチェックリスト」を、2回（7月、2月）実施した。
- 2) 不適切なケア発生時の委員会としての対応や取り組みについて検討した。
- 3) 全職員対象で虐待防止に繋がる研修（ネグレクト、スピーチロック）を資料研修で実施した。
- 4) 虐待・不適切なケア防止に関するポスターを館内各所に掲示し、啓発活動を行った。

⑥ 防犯・防災委員会 … 防災計画の立案・実施と防犯・防災対策の推進、内部研修の実施

[報告事項]

- 1) 防災備蓄庫内の整理を行い、備蓄品の在庫数把握ならびに追加購入品の確認を実施した。（新型コロナウイルス感染症関連備品と事前災害関連備品）
- 2) 利用者参加で避難訓練（総合、夜間想定）を実施した。
- 3) 電気設備点検による施設内停電を災害と想定して、停電時に予測されることを想定しながら委員の役割分担、必要物品の確認や準備（ランタン、給水バッグの購入）を行った。

⑦ 運営会議 … ハピネス浜野の運営管理

[報告事項]

- 1) ハピネス浜野開設20周年を利用者等と祝うイベントの検討を開始した。
- 2) 利用者関連事項を各部署で検討した。

⑧ 給食会議 … 利用者の食事全般や衛生に関する取り組み、給食委託業者との話し合い

[報告事項]

- 1) 給食委託業者と施設長・栄養士・サビ管・児発管が参加して2ヶ月に1回、利用者の喫食状況の把握、食事形態・量の検討を行い適宜変更し、食事を提供した。
- 2) 行事食の検討および防災食の入替を実施した。

⑨ 経営会議 … 法人、各事業の関係者による運営管理

[報告事項]

- 1) 法人の各事業の運営について検討した。

⑩ 全体会議 … 全職員へ法人・施設の報告事項を伝える

[報告事項]

- 1) 利用者関連事項、事務（給食）、行事関係等を文書により連絡した。